

6月4日

自転車長距離走で弟子屈を満喫 グランfond摩周を開催

スタートした参加者たち



第11回グランfond摩周（同実行委員会主催）が6月4日、摩周観光文化センターを発着地とし222人が参加しました。

グランfond摩周はレースではなく、景色やグルメを楽しむ自転車のイベント。摩周・屈斜路エリアの美しい新緑の中を走る100キロと屈斜路湖のほとりを中心に巡る60キロのサイクリングツアーが行われました。チェックポイントでは摩周そばなどの地元の味も堪能しました。

6月2日

次の世代に木を繋ごう 弟子屈町植樹祭を開催

丁寧に植樹を行う皆さん



弟子屈町植樹祭～森林（もり）は自然の貯金箱～が6月2日、摩周観光文化センター裏で行われました。緑のふるさとづくりを目的に、町と

緑化推進委員会（会長・徳永町長）が主催して毎年行っています。今年は関係者など約60人が参加し、摩周建設事業協会（近藤明会長）から7本の寄付を含めた77本のエゾヤマザクラの苗木を丁寧に植樹しました。

5月11日

悲惨な事故を防ごう 摩周観光文化センター前で旗の波街頭啓発運動

呼び掛けをする徳永町長



交通安全意識の向上を目的とした旗の波街頭啓発運動が、弟子屈町交通安全運動推進協議会と弟子屈町交通安全協会の共催で、5月11日、摩周観光文化センター前でされました。この活動は春の全国交通安全運動期間中に毎年実施されているもので、同協議会の構成団体、関係機関から約50人が参加。沿道に並び、交通安全を呼び掛ける旗を掲げて交通事故防止を呼び掛けたほか、弟子屈警察署の協力の下、通行車両のドライバーに地元のお菓子を含めた啓発品の配布を行いました。

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにつけられます。お気軽にご連絡ください。

まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913（課直通）

6月4日

町内をきれいに 町内郵便局職員でゴミ拾い

ゴミ拾いをする職員



弟子屈町内郵便局（弟子屈・川湯・美留和・屈斜路）ではクリーンアップ作戦として6月4日、美留和地区道路脇のゴミ拾いを行いました。新型

コロナウイルス感染防止のため中止していましたが3年ぶりに実施され約20人の職員が参加。川湯郵便局上村明則局長は「見えないところにゴミが多くこれからもこの活動を続けていきたい。」と話していました。

6月4日

花いっぱいでおもてなし 花壇への植栽を実施 | 日の出自治会

丁寧に花を植える会員の皆さん



日の出自治会（塩沢紀雄会長）の皆さんが6月4日、国道391号線から摩周駅前に向かう交差点のロータリーで花壇への植栽を行いました。同自治会が毎年行っているもので、およそ20人が参加。約2千8百株を丁寧に植えました。この植栽は、日の出自治会、国土交通省釧路開発建設部弟子屈道路事務所、町の3社が協力するボランティア・サポート・プログラムの一環として実施され、花の苗は釧路開発建設部から支給を受けています。もうしばらくすると、きれいに咲きそろった花が皆さんをお迎えます。

5月16日

命の大切さを伝え交通安全を祈る 「ひまわりの絆プロジェクト」を開催

ヒマワリの種をまく皆さん



弟子屈警察署（小松孝浩署長）主催による「ひまわりの絆プロジェクト」の一環であるヒマワリの種まきが、5月16日、弟子屈車輻輳業（坪井智裕社長）前で、約10人が参加して行われました。このプロジェクトは、交通事故で亡くなった男の子が育てていたヒマワリの種を全国で開花させる取り組みで、プロジェクトを通し命の大切さと交通安全をよびかけていきます。

5月13日

弟子屈町指定名木を巡る 春の名木ツアーで魅力再認識

萩原さんの解説を聞く



町が主催する「春の名木ツアー」が5月13日に行われました。今年は町内外の7人が参加。てしかが自然学校の萩原寛暢さんがガイドを務め、和琴半島の散策や名木ボプラヤカツラなどを見学、解説されました。参加者の皆さんは熱心に聞き入り、とてもおもしろかったと好評を博しました。

6月11日

環境保全から生まれる産業の未来 摩周・水・環境フォーラムを開催

講義を聞く参加者



摩周水系西別川流域連絡協議会など主催の第19回摩周・水・環境フォーラムが6月11日、摩周観光文化センターで開催されました。

フォーラムには約100人が参加。フィッシングプロデモストレーター村田基さんが「釣りで地方を活性化しよう」と題して講演を行いました。釣り人はただ釣りをするだけでなく、レンタカー代、宿泊費、飲食代などその地域に多くの利益を生み出す。自然環境に配慮した釣り人に対するルールを作り、道外からの釣り人を集客できる地域に変えていくことでこの地域が活性化するのはないかと話していました。

6月5日

地域に社会貢献 東星渡部建設、道瀝工業に感謝状を贈呈

橋本さん（左）、山村恵子さん（中央）、山村聡さん（右）



東星渡部建設（株）（山村聡代表取締役）と道瀝工業（株）（橋本稔代表取締役）に6月5日、町から感謝状が贈呈されました。

東星渡部建設、道瀝工業の皆さんは、5月18日に摩周文化センターに隣接しているソフトボール場の整備、コミュニティ広場の転圧作業などを行い感謝状は今回の社会貢献に対して贈られました。

5月26日

消防力の充実・強化に貢献 令和5年春の叙勲伝達式を開催

受賞した筒井さん



令和5年春の叙勲（消防功労）を町内在住の筒井庄一さんが受賞し、その伝達式が5月26日、役場で行われました。

この叙勲は永年にわたり多くの災害鎮滅に貢献し、釧路管内技能競技大会での輝かしい功績が高く評価されたもの。筒井さんは、昭和49年に弟子屈消防団に入団し平成9年に分団長に就任。令和3年12月まで47年もの長きにわたり、防災、消防活動の発展向上に尽力された実績が認められ瑞宝単光章を受賞しました。

5月22日～6月9日

個性溢れる作品がたくさん TETSUYA AOKI スケールモデルの世界作品展が開催

来場者を楽しませる作品の数々



町在住の青木哲也さんのスケールモデルの世界作品展が、5月22日～6月9日まで、弟子屈郵便局（藤原

将男局長）ロビーで開催されました。郵便局からの呼び掛けで今回初めての展示会を行うことになったもので、カーモデルの展示ということもあり、特に男性の来場者から「懐かしい」などの声がありました。